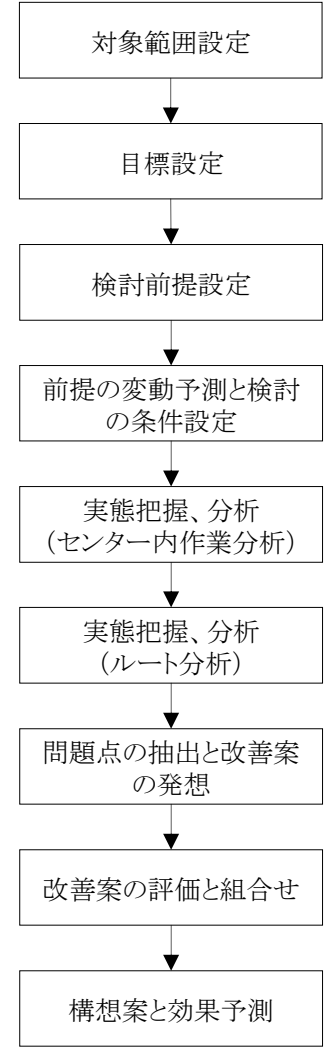


物流改善は、物流ルート、物流方法等の輸送に関わる改善に加えて、物流センター内の作業方法、動線、レイアウト改善等の要望も多くあります。物流センター内の改善活動は、工場内の改善活動と同様な手法を活用して行うと良いでしょう。

物流ルートの検討は、物流拠点配置とそこへの物流ルート、速度、頻度、重量、方法等の様々なパターンのシミュレーションして最適・最低コストのルートを探してくれるツールがあり、そのような検討のサービスを受けるのも有効です。

物流改善には、そのサービスレベルと、物流コストのトレードオフの関係になっており、緻密な検討が必要です。検討の際には、目標設定と同時に、検討前提としての物流量、物流金額、頻度、時間制約等の明確化が重要です。検討の際には、品物や量が日々変つたり、長い年月で商品種や量が変わるため、その予測を配慮して検討することが重要でしょう。これらの前提決めの後、各種無駄取りや新たな方式・設備等の検討を盛り込んで改善案を構想していくこととなります。

展開ステップ



物流改善対象図

